

P o l y b d R - 1 5 H T

安全データシート

作成日: 1993/06/08 改訂日: 2024/07/31

Poly bd R-15HT_JP05(JP)_20240731

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : P o l y b d R - 1 5 H T
整理番号 : Poly bd R-15HT_JP05(JP)_20240731

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 接着剤、電気絶縁材、シーリング剤
使用上の制限 : 工業用途のみとし、所定用途以外には使用しないこと。

会社情報

出光興産株式会社
〒100-8321
東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号
電話 0120-132-015

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 0120-015-230 (NCEC)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

製品名／原材料名／化学物質名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
Hydroxy terminated 1,3-butadiene homo polymer	> 99%	Unspecified	(6)-722	(6)-722	69102-90-5
			(6)-757	(6)-757	

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
多量の水と石鹼で優しく洗うこと。
皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合 : 眼に入った場合、直ちに多量の水ですすぎ、医師の診察を受ける。
まぶたをよく開かせて、直ちに多量の水でしっかりすすぐ。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
予防措置として水で眼を洗う。

飲み込んだ場合 : 完全に意識がある場合は吐かせる。
医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護具を着用して作業する。
安全眼鏡。個人用保護具。手袋。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、乾燥砂、耐アルコール性泡、水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

特有の消火方法 : 消火活動は、できるだけ風上から行い蒸気、ガスの吸入を避ける。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 適切な保護具を着用して作業する。

消火時の保護具 : 自給式呼吸器および化学物質用防護服を着用する。
適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。完全防護服。

火災の予防策 : 容器を密閉し、高温、悪天候、裸火から遠ざける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置 : 漏出エリアを換気する。
機械的に漏出エリアを換気する。
警察署および消防署にできるだけ速やかに通報する。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
推奨される個人用保護具を着用する。
安全眼鏡を着用し飛沫が眼に入るのを防ぐ。
呼吸保護具。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
保護用手袋。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

応急処置 : エリアを換気する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

二次災害の防止策 : 排水溝または水路への侵入を防ぐ。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 換気の良い場所でのみ使用すること。
適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項	： 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 眼との接触を避ける。 作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防する。 部屋の排気および全般的な換気を確保する。 十分に換気し、蒸気の濃度を最小限に抑える。 皮膚との接触を避ける。 皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。 静電気の発生を防止する。
接触回避	： データなし
衛生対策	： 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件	： 換気の良い涼しい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。 火の気のない場所で保管する。
安全な容器包装材料	： データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	： 局所排気・全体換気、防爆型の機器を使用する、ばく露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の目をすすぐ器具と安全用のシャワーが設置されなければなりません、作業所の十分な換気を確保する。
------	--

保護具

個人用保護具	： 保護眼鏡、保護手袋、不必要なばく露を避ける。
呼吸用保護具	： 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	： 保護用手袋
眼及び／又は顔面の保護具	： 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	： 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	： 環境への放出を避けること。

その他の情報	： ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
--------	------------------------

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
外観	： 無色透明
色	： 無色
臭い	： データなし
pH	： データなし
融点	： 非該当
凝固点	： データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲	: > 300 ° C
引火点	: 266 ° C (Cleveland Open Cup)
自然発火点	: 400 ° C
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
比重	: 0.906 (30 ° C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃 限界	: データなし
粘性率	: 1.5 (1.2 - 1.8) Pa·s (30 ° C)
動粘性率	: データなし
粒子サイズ	: データなし
粒径分布	: データなし
粒子形状	: データなし
粒子アスペクト比	: データなし
粒子比表面積	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	: 40℃以上で長時間おくと、黄変したり、重合や架橋して粘度が上昇することがある。
混触危険物質	: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 熱分解により次のものを生成する：一酸化炭素。二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データなし
急性毒性（経皮）	: データなし
急性毒性（吸入）	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

P o l y b d R - 1 5 H T (69102-90-5)

水生環境有害性 短期（急性） : データなし
水生環境有害性 長期（慢性） : データなし

残留性・分解性

P o l y b d R - 1 5 H T (69102-90-5)

残留性・分解性	データなし
---------	-------

生体蓄積性

P o l y b d R - 1 5 H T (69102-90-5)

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壤中の移動性

P o l y b d R - 1 5 H T (69102-90-5)

土壤中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 環境への放出を避けること。
廃棄方法 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を破棄する。
残余廃棄物 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。
現行の法律、規制、指令に準拠する。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
非該当	非該当	非該当
国連正式品名		
非該当	非該当	非該当
輸送危険物分類		
非該当	非該当	非該当
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
環境有害性 : 非該当	環境有害性 : 非該当	環境有害性 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 指定可燃物（可燃性液体類）
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第 1 の 4 項 貨物等省令第 3 条第 7 号フ 末端に水酸基を有するポリブタジエン

16. その他の情報

参考文献等：弊社試験結果

免責事項

この SDS は JIS Z 7253 (2019) に準拠する。この安全データシートに記載されている情報は、その発行日時点において、我々が知る限りにおいて、および信じるところにより正確であることを証明する。ここに記載する情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、運搬、廃棄、および放出を安全に実施することを目的としてのみ提供されており、保証または品質仕様を表しているものではない。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、何らかのプロセスで指定外に他の物質と共に使用した場合、その妥当性は排除される。